

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第7部門第2区分  
【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2007-157778(P2007-157778A)  
【公開日】平成19年6月21日(2007.6.21)  
【年通号数】公開・登録公報2007-023  
【出願番号】特願2005-346953(P2005-346953)  
【国際特許分類】

**H 0 1 L 33/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 L 33/00 E

H 0 1 L 33/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月15日(2008.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1導電型の第1のクラッド層と、  
前記第1のクラッド層上に設けられた活性層と、  
前記活性層上に設けられた第2導電型の第2のクラッド層と、  
前記第2のクラッド層上に設けられた第2導電型の光取り出し層と、  
前記光取り出し層上に設けられ、前記光取り出し層に対しオーミック性であるオーミックコンタクト電極と、  
前記光取り出し層上に設けられ、前記光取り出し層に対し非オーミック性であり、前記オーミックコンタクト電極と電氣的に接続されるボンディングパッド電極と、  
を有する半導体発光素子。

【請求項2】

前記ボンディングパッド電極は、前記オーミックコンタクト電極の上面に接触していることを特徴とする請求項1に記載の半導体発光素子。

【請求項3】

前記光取り出し層は、GaPからなることを特徴とする請求項1または2に記載の半導体発光素子。

【請求項4】

前記ボンディングパッド電極は、前記オーミックコンタクト電極に対しオーミック性であることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の半導体発光素子。

【請求項5】

前記ボンディングパッド電極は、上面図において、前記半導体発光素子の中央部に設けられ、

前記オーミックコンタクト電極は、上面図において、前記半導体発光素子の周辺部に設けられていることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の半導体発光素子。